

施設サービス 所定疾患施設療養費一覧表(令和元(平成31)年度)

入所者	治療開始日	区分	治療日数	傷病名	検査	治療内容	内容	
様	平成31年04月10日	II	6	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	4/10クラビット(500)1T1×1,3日間 4/12(13日～の分として)クラビット(500)1T1×1,3日間	発熱39℃, 尿路感染症既往歴ありにて、尿検査・CRP検査(0.8)指示。検査結果より尿路感染症と診断。
様	平成31年04月03日	II	7	肺炎	CRP検査	投薬	4/3クラビット(500)1T1×1,2日間 4/4ユナシン(250)3T3×1, サワシリン(250)3T3×1 毎食後、各2日間 4/5(6日～の分として)ユナシン(375)2T2×1朝・夕、サワシリン(250)3T3×1 毎食後、各5日間 5/13ユナシン(375)・サワシリン(250)・アスピリン・ムコダイン・各3T3×1, ホクナリンテープ2mg, すべて3日間 5/14ユナシン・サワシリンを中止 プレドニン(500)4T2×1, テオドール(200)2T2×1, 各2日間, フロモックス(100)3T3×1, 2日間 5/16ソルデム3号500ml×1本セファメジン1g×2本 5/17ソルデム3号500ml×1本、(18日も。午前と午後)フロモックス(100)・プレドニン(5)・アスピリン・ムコダイン、各3T3×1, 3日間 テオドール(200)2T2×1, 3日間	湿性咳嗽(+), 発熱38.2℃, 呼吸数32にてCRP検査指示。検査結果より肺炎と診断。 咳の訴えあり。喉痛みなし。右下湿性ラ音(+)呼吸数24, CRP検査数値0.5。以上より急性肺炎と診断。
様	令和01年05月13日	II	7	急性肺炎	CRP検査	投薬	6/27フォーレ抜去後、初の定期回診にて尿検査指示。6/28検査結果より尿路感染症と診断。	
様	令和01年06月28日	II	4	尿路感染症	尿検査	投薬	6/17膀胱留置カテーテル抜去となる。その後回診時、血尿状態。様子観察とし、CRP検査指示。検査結果および状態より尿路感染症と診断。	
様	令和01年06月17日	II	6	尿路感染症	尿検査	投薬	6/11より入所利用開始。入所時定期回診にて状態把握のため尿検査、CRP検査等指示。6/12午後検査結果より尿路感染症と診断。	
様	令和01年06月12日	II	5	尿路感染症	尿検査	投薬	6/7発熱38.7℃・体熱感(+)+咳(+)+多呼吸(呼吸数40)左肺呼吸音(-)にて、CRP検査と尿検査指示。検査結果を受け誤嚥性肺炎と診断。	
様	令和01年06月07日	II	5	誤嚥性肺炎	尿検査・CRP検査	投薬	7/1クラビット(500)1T1×1 3日間 7/2(7/4～の分として)クラビット(500)1T1×13日間 7/5クラビットからホスミン(500)3T 3×1 3日間へ変更 7/8ホスミン(500)3T3×1 3日間	発熱(40.5)フォーレ留置の方。尿検査・CRP検査指示。検査結果より尿路感染症と診断。
様	令和01年07月01日	II	7	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	7/29(本日夕食後より開始)クラビット(500)1T1×1, ムコダイン3T3×1, アスピリン3T3×1, 各2日間 7/30(7/31～の分として)クラビット(500)1T1×1, ムコダイン3T3×1, アスピリン3T3×1, 各2日間 8/2クラビット(500)1T1×1, ムコダイン3T3×1, アスピリン3T3×1, 各2日間	意識状態や不明瞭・痰(+)+左下～中肺呼吸音減弱・湿性ラ音(+)CRP検査指示。検査結果より急性肺炎と診断。
様	令和01年07月29日	II	7	急性肺炎	CRP検査	投薬	7/17悪寒・顔色不良・発熱(39.2℃)尿検査・CRP検査指示。検査結果より7/18に尿路感染症と診断。	
様	令和01年07月18日	II	2	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	クラビット(500)1T1×1 3日間 7/9(7/11～の分として)クラビット(500)1T1×1 3日間	発熱(38度)右下湿性ラ音(+)呼吸荒い・脈95・SPO2測定90。状態から肺炎を疑うも、尿路感染も疑い尿検査指示。検査結果より急性肺炎と診断。
様	令和01年07月08日	II	6	急性肺炎	尿検査	投薬	8/2クラビット(500)1T1×1,4日間 8/5(8/6～の分として)クラビット(500)1T1×1,2日間	7/31施設入所。入所時回診状態把握の為尿検査指示。検査結果を受け尿路感染症と診断。
様	令和01年08月02日	II	6	尿路感染症	尿検査	投薬	8/30クラビット(500)1×1(朝)4日間 9/2(9/3～の分として)クラビット(500)1×1(朝)4日間継続処方	定期回診、左足浮腫あり。糖尿病あるため尿糖値確認のため尿検査指示。検査結果より尿路感染症と診断。
様	令和01年08月30日	II	7	尿路感染症	尿検査	投薬	8/13(昼より)フロモックス3T3×1,3日間 8/16サワシリン(250)・ユナシン(375)、各3T3×1,3日間 8/19サワシリン(250)・ユナシン(375)、各3T3×1,4日間	発熱(38.8)呼吸数(19)左下肺雑音(+), CRP検査(5.8)・尿検査指示。検査結果より肺炎と診断。
様	令和01年08月13日	II	7	肺炎	尿検査・CRP検査	投薬	8/4フロモックス4T4×1(毎食後・20時)2日間 8/5(8/6～の分として)フロモックス4T4×1(毎食後・20時)2日間 8/7フロモックス4T4×1(毎食後・就寝前)3日間	発熱(38.7)回診にて肺雑音(-)。CRP検査・尿検査指示。検査結果より尿路感染症と診断。
様	令和01年08月08日	II	7	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	8/4早朝、黄色粘膿性SP多量に吸引。体熱感顕著、湿性咳嗽(+)+喘鳴(+), 回診、発熱(38.6)呼吸数(28)両肺呼吸音減弱。診察により急性肺炎と診断。	
様	令和01年08月04日	II	7	急性肺炎	診察	投薬	夜間急な発熱(39.0)声掛け反応あり。活気なし。CRP検査(2.1)尿検査指示。検査結果より尿路感染症と診断。	
様	令和01年08月27日	II	7	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	9/10フロモックス3T3×1,2日間(9/10昼より開始)9/11クラビット(500)1T1×1,2日間(フロモックス中止) 9/12クラビット(500)1T1×1,2日間(9/13～の分として) 9/13ユナシン(375)3T3×1, サワシリン(250)3T3×1, 各5日間	体熱感あり。KT:39.1℃, 右下湿性ラ音(+) 呼吸数:26回/分。尿検査・CRP検査(9.4)。検査結果より急性肺炎と診断。
様	令和01年09月10日	II	7	急性肺炎	尿検査・CRP検査	投薬	9/18クラリシット(200)2T2×1,5日間	顔色不良、黄色痰多量吸引、呼吸減弱(呼吸数26回/分)、SpO2:70% KT:38.3℃, CRP検査(1.8)により、誤嚥性肺炎と診断。
様	令和01年09月18日	II	5	誤嚥性肺炎	CRP検査	投薬	11/7チエナム0.5g×2(点滴) 11/8チエナム0.5g×2(点滴)	11/7発熱37.4 痰がらみ(+) CRP測定(2.5)にて誤嚥性肺炎と診断する。
様	令和01年10月07日	II	3	急性肺炎	CRP検査	投薬	10/15点滴(ソルデム3号500ml×1,5,チエナム0.5g 2×1 1日間)10/16～21継続指示 点滴(ソルデム3号500ml×1,チエナム0.5g 2×1 1日間)	体温37℃,呼吸数30,右下肺湿性ラ音(+)にてCRP検査・尿検査指示。検査結果より急性肺炎と診断。
様	令和01年10月15日	II	7	急性肺炎	尿検査・CRP検査	投薬	10/12セファメジンα1gキョト1日2回 10/13朝よりフロモックス(100)3T3×1,3日間 10/15(16日～の分として)フロモックス(100)3T3×1,3日間	顔色不良、四肢冷感あり、黄色痰多量吸引、発熱38.6℃, 回診時CRP検査指示。検査結果等より急性肺炎と診断。
様	令和01年10月12日	II	7	急性肺炎	CRP検査	投薬	10/30タよりホスミン(500)3T3×1,3日間 11/1(2日夕～の分として)ホスミン(500)3T3×1,3日間	体熱感あり、咳嗽や痰からみなし。発熱38.6℃, 肺雑音(-)ラ音(-)。尿検査・CRP検査指示。検査結果より尿路感染症と診断。
様	令和01年10月30日	II	7	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	11/7回診時発熱37.4 呼吸数22回/分 尿湿潤著明 CRP検査・尿検査指示。検査結果を受け尿路感染症と診断。	
様	令和01年11月08日	II	7	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	11/7回診時発熱37.4 呼吸数22回/分 尿湿潤著明 CRP検査・尿検査指示。検査結果を受け尿路感染症と診断。	
様	令和01年11月09日	II	5	尿路感染症	尿検査	投薬	11/8入所。入所時状態把握のための検査として尿検査実施。検査結果をうけて尿路感染症と診断。	
様	令和01年11月20日	II	5	尿路感染症	尿検査	投薬	11/20クラビット(500)1T1×1 3日間 11/22(23日～の分として)クラビット(500)1T1×1 2日間	11/19入所。入所時の状態把握のための検査として尿検査実施。検査結果を受け、尿路感染症と診断。
様	令和01年11月01日	II	7	尿路感染症	尿検査	投薬	11/1ホスミン(250)3T3×1 3日間本日から開始 11/5ホスミン(250)3T3×1 3日間	10/30入所。入所時状態把握のための検査として尿検査実施。検査結果を受けて尿路感染症と診断。
様	令和01年11月30日	II	2	急性肺炎	診察	投薬	11/30アモベニキシン3T, ユナシン3t, 各3×1 3日間発熱時カロナール1T 12/2状態悪化投薬なし(12/2死亡)	以前より状態悪くターミナルケア実施中。11/30発熱39.1 濃痰(鼻腔チューブ)の方 呼吸41回/分 脈拍102回/分 急性肺炎と診断。

様	令和01年11月07日	II	2	誤嚥性肺炎	CRP検査	投薬	11/7チエナム0.5g×2(点滴) 11/8チエナム0.5g×2(点滴)	11/7発熱37.4 痰がらみ(+) CRP測定(2.5)にて誤嚥性肺炎と診断する。
様	令和01年12月06日	II	7	急性肺炎	CRP検査	投薬	12/6タよりサワシリン3T3×1、ユナシン3T3×1、各3日間 12/9タよりサワシリン3T3×1、ユナシン3T3×1、各3日間	痰がらみ(白色～黄色)多い。発熱37.1℃。CRP検査指示。検査結果より急性肺炎と診断。
様	令和01年12月16日	II	6	尿路感染症	診察	投薬	12/16クラビット(500)1T1×1、3日間 12/18(19日からの分として)クラビット(500)1T1×1、3日間 12/19フロモックス3T3×1、2日間 カロナール(200)1T1電用	発熱37.9℃。尿道カテーテル留置者。Hr浮遊物(+)尿混濁著明。回診時尿路感染症と診断。
様	令和01年12月25日	II	5	急性肺炎	CRP検査	投薬	12/25昼～29日朝まで フロモックス3T3×1 4日間	発熱39.5℃。回診右下肺湿性ラ音(+)呼吸20。CRP検査指示。検査結果を受け急性肺炎と診断。
様	令和01年12月05日	II	7	肺炎	CRP検査	投薬	12/5フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、各2日間 12/6(7日～の分として)フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、各3日間 12/9(10日～の分として)サワシリン3T3×1、ユナシン3T3×1、各3日間	咳、痰(+)発熱38.5℃。CRP検査指示。検査結果を受け肺炎と診断。
様	令和01年12月21日	II	7	尿路感染症	尿検査・CRP検査	投薬	12/21クラビット(500)1T1×1、2日間 12/23ホスミン(500)3T3×1、3日間 12/26ホスミン(500)3T3×1、4日間	12/20入所。入所時状態確認のため尿検査・CRP検査等実施。尿検査結果を受け尿路感染症と診断。
様	令和01年12月07日	II	7	急性肺炎	CRP検査	投薬	12/7サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、テオフィリン徐放錠(100)2T2×1、各2日間 12/9サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、テオフィリン徐放錠(100)2T2×1、ムコダイン3T3×1、各3日間 プレドニン(5)2T2×1 2日間 12/11(12日～の分として)サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、テオフィリン徐放錠(100)2T2×1、ムコダイン3T3×1、各3日間	湿性咳嗽著明。左下肺喘鳴、体温37.3℃。CRP検査実施(3.8)以上のことから急性肺炎と診断。
様	令和01年12月25日	II	7	急性肺炎	CRP検査	投薬	12/25昼より ホクナリンテープ2mg1×1、クラビット(500)1T1×1、プレドニン(5)3T3×1、ムコダイン3T3×1、アスベリン3T3×1、各2日間 12/26(27日昼～の分として)ホクナリンテープ2mg1×1、2日間 クラビット(500)1T1×1、プレドニン(5)1T1×1、ムコダイン3T3×1、アスベリン3T3×1、各4日間	湿性咳嗽、喉の違和感の訴えあり。咳(+)喘鳴(+)CRP検査指示。検査結果を受け急性肺炎と診断。
様	令和01年12月24日	II	7	尿路感染症	尿検査	投薬	12/24昼よりクラビット(500)1T1×1、アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、各3日間 12/26(27日昼～の分として)クラビット(500)1T1×1、アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、各4日間 フロセミド(40)1T1×1、7日間	12/23回診時全身浮腫著明。尿検査等実施指示。検査結果を受け尿路感染症と診断。
様	令和01年12月09日	II	7	急性肺炎	診察	投薬	12/9昼よりサワシリン3T3×1、ユナシン3T3×1、各3日間 12/12昼よりサワシリン3T3×1、ユナシン3T3×1、各3日間 12/16フロモックス3T3×1、3日間	発熱37.5℃。体熱感あり。回診時右下肺湿性ラ音(+)、状態より急性肺炎と診断。
様	令和01年12月11日	II	5	尿路感染症	尿検査	投薬	12/11クラビット(500)1T1×1、5日間	12/10新規入所。入所時状態把握のため、尿検査等実施。尿検査結果を受けて尿路感染症と診断。
様	令和01年12月23日	II	7	尿路感染症	尿検査	投薬	12/23タ～ホスミン(500)3T3×1、2日間 12/26ホスミン(500)3T3×1、4日間	12/19入所。入所時状態確認の為尿検査等実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。
様	令和02年01月20日	II	7	尿路感染症	尿検査(BLD1+ 0.06mg/dl,PRO2+ 100mg/dl,LEU3+ 500c/uL)	投薬	1/20クラビット(500)1T1×1、4日間 1/23(24日～の分として)レボフロキサシリン錠500mg1T1×1、カルボシステイン錠250mg3T3×1、各4日間	尿路感染症の症状に対し改善効果が得られると考えるため、クラビット(抗生剤)を処方、併せて、湿性咳嗽、痰がらみあり、レボフロキサシリン錠、カルボシステイン錠を処方。薬剤感受性試験:無し
様	令和02年01月24日	II	7	急性肺炎	CRP検査(6.2)	投薬	1/24タ～、フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ(2)1枚、各3日間 1/27タ～、1/24タ～、フロモックス3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ(2)1枚、各3日間	肺炎の症状に対し改善効果が得られると考えるため、1/24フロモックス(抗生剤)を処方 喘鳴あり、ムコダイン、ホクナリンテープを処方。肺炎、喘鳴の症状改善傾向にあり、1/27同処方を継続にて経過観察。薬剤感受性試験:無し
様	令和02年01月08日	II	7	尿路感染症	尿検査(URO: normal, BLD: 2+ 0.15mg/dL, PRO: 1+ 30mg/dL, pH: 6.0, LEU: 3+ 500c/uL, S.G: 1.010), CRP検査(14.4)	投薬	1/8クラビット(500)1T1×1、2日間 1/9(10日～の分として)クラビット(500)1T1×1、5日間 カロナール3T3×1、2日間	1/8体調不良のためリハビリ中止。回診時腹部押ししても痛みなし、尿検査、CRP検査。結果より、尿路感染症と診断。 1/9 下肢痛みの訴えあり、痛みを緩和させるため、カロナールを処方。薬剤感受性試験:無し
様	令和02年01月05日	II	7	急性肺炎	CRP検査(5.9)	投薬	1/3フロモックス3T3×1、ホクナリンテープ1×1、各3日間 1/4追加処方クラビット(500)1T1×1、2日間 1/6服薬中止。点滴「ソルデム3号500ml×1.5セファマジン1.0×2」1/7点滴「ソルデム3号500ml×1.5 セファマジン1.0×2」1/8点滴「ソルデム3号500ml×1.5 セファマジン1.0×2」1/9点滴中止。クラビット(500)1T1×1、3日間	発熱あり1/3より投薬開始。湿性咳嗽あり。胸部異音あり。咳(+)体温37.9℃。CRP検査指示。検査結果と合わせ、1/5回診にて急性肺炎と診断。
様	令和02年01月14日	II	7	尿路感染症	CRP検査(5.6)、尿検査(URO: normal, BLD: + 0.03mg/dL, PRO: 1+ 30mg/dL, pH: 6.0, NIT: +, LEU: 3+ 500c/uL, S.G: 1.015)	投薬	1/14クラビット(500)1T1×1、2日間 1/15(16日～の分として)クラビット(500)1T1×1、4日間 1/16サワシリン250mg3k3×1、ユナシン(375)3T3×1、各3日間 1/17(20日～の分として)クラビット(500)1T1×1、3日間	1/13発熱39.1℃。1/14インフルエンザテスト(-)咳・痰あり、腫(+)CRP検査、尿検査。検査結果を受け尿路感染症と診断。 尿路感染症の症状に対し改善効果が得られると考えるため、1/14、1/15クラビット(抗生剤)を処方。状態変化見られず、1/16抗生剤を変更し(ユナシン、サワシリン)症状に改善が見られたため、1/17クラビット(抗生剤)へ変更。薬剤感受性試験:無し
様	令和02年01月03日	II	7	急性肺炎	なし、診察	投薬	1/3クラビット(500)1T1×1、3日間 1/6クラビット(500)1T1×1、アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各2日間 1/8クラビット(500)1T1×1、アスベリン3T3×1、ムコダイン3T3×1、ホクナリンテープ2mg1×1、各2日間	肺炎の症状に対し改善効果が得られると考えるため、1/3クラビット(抗生剤)を処方。症状が安定してきたため、1/6クラビットを継続処方にて経過観察。併せて湿性咳嗽あり、同日、アスベリン、ムコダイン、ホクナリンテープを処方。肺炎、湿性咳嗽の症状改善傾向見られず、1/8同処方継続。薬剤感受性試験:無し
様	令和02年01月02日	II	3	誤嚥性肺炎	なし。診察にて。	投薬	1/2タよりフロモックス3T3×1、4日間(ご家族との話し合い、濃流・内服せず静かに経過を見守ることから1/5投薬中止)	ターミナルケア実施中、経鼻濃流の付、呼吸速迫みられ、1/2回診。多呼吸、浅表性。不整脈(+)チアノーゼ(+)状態より、誤嚥性肺炎と診断。 肺炎の症状に対し改善効果が得られると考えるため、1/2フロモックス(抗生剤)を処方。薬剤感受性試験:無し

薬剤の選択理由

様	令和02年01月10日	II	7	急性肺炎	CRP検査(20)	投薬	1/10クラビット(500)1T1×1、4日間 1/14クラビット(500)1T1×1、4日間	体熱感(+)湿性咳嗽(+)発熱37.9℃、咳・痰(+)呼吸数22にてCRP検査指示。結果を受け急性肺炎と診断。	肺炎の症状に対し改善効果が得られると考えるため、1/10クラビット(抗生剤)を処方。徐々に改善傾向であるが、1/14同処方にて経過観察。 薬剤感受性試験:無し
様	令和02年02月19日	II	6	尿路感染症	CRP検査(13.3) 尿検査(URO: normal, PRO: ± 15mg/dL, pH: 6.5, NIT: +, LEU: 3+ 50 Oc/uL, S. G: 1.015)	投薬	2/19クラビット500mg1T1×1、3日間 2/21(22日～の分として)クラビット500mg1T1×1、3日間	2/18夜間発熱(40.0℃)悪寒戦慄(+)体熱感著明。フォーレ留置者にて翌日2/19回診の上、CRP検査・尿検査実施。検査結果を受け尿路感染症と診断。	尿路感染症の症状に対し改善効果が得られると考えるため、クラビット(抗生剤)を処方 薬剤感受性試験:無し
様	令和02年02月13日	II	7	肺炎	CRP検査(9.4)	投薬	2/13サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)3T3×1、各4日間 カロナール1T1×1、屯用 夕より開始 2/17(継続処方)サワシリン(250)3T3×1、ユナシン(375)3T3×1、各3日間	2/10～咳(+)、痰(+)KT:39℃-38℃ SPO2:90% 右肺下部湿性ラ音(+)。CRP検査実施。インフルエンザ検査(-)。検査結果を受け、肺炎と診断。	肺炎の症状に対し改善が得られると考えるため、2/13、サワシリン、ユナシン(抗生剤)を処方。発熱時、解熱用としてカロナールを処方。徐々に改善傾向ではあるが、2/17同処方にて経過観察 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年03月18日	II	4	急性肺炎	CRP検査(8.8)	投薬	3/18ホスミン(500)3T 5日間 3/19投薬変更 サワシリン(250)、ユナシン(330)、ムコダイン、各4T4×1、4日間 3/22より全身状態悪く服薬出来ず。	3/18回診、3/10頃より38℃台発熱続いている。投薬するも熱下がらず、3/19回診。KT:40℃-39℃。呼吸数24。両下肺湿性ラ音(+)。CRP検査実施。以上により3/18より急性肺炎と診断。投薬変更する。	肺炎の症状に対し改善が得られると考えるため、3/18、ホスミンを投薬するも、症状改善見られず、3/19、サワシリン、ユナシン、ムコダイン(抗生剤)を処方、経過観察。 薬剤感受性試験:なし
様	令和02年03月16日	II	6	急性肺炎	CRP検査(9.0)	投薬	3/16～21まで「点滴」ソルデム1号500ml×1、セファメジン1.0×2	3/16回診。痰(3+)R:22、SPO2:88%。CRP検査結果より急性肺炎と診断。	ソルデム1号 → 脱水症合併のため セファメジン → 肺炎に対し、経口摂取不能のため 薬剤感受性試験:なし